幹部・営業のための、財務諸表使いこなしセミナー(貸借対照表編)

知るより使う！
財務表から戦略が読める・組立てられる

財務表を使いますが、「貸方・借方」から理解するいわゆる財務研修ではありません。
財務表をどう読み、いかに判断し、戦略を立てるかをテーマにした、今までにないプログラムです。

- 経営の羅針盤「財務諸表」を使いこなしたい。
- 数字から、わが社のあるべき姿、戦略を考えたい。
- 取引先・営業先企業の状態をより正しく与信判断したい。

財務諸表とは何か、どう経営に生かすかを大局的な観点で理解し、戦略思考へつなげます

1. 難しいことを言わない、意外とカンタン財務表
財務表とは何で、どう使うべきか。財務表・数字を経営戦略、営業戦略という視点から見てみよう。戦略・物語を読むために知るべき3つの視点・3つのポイント。「儲ける力」を向上させるためのマネジメント。

2. 貸借対照表(BS)はこう使う
自社はもちろんのこと、取引先の「強み」「弱み」は何なのか？企業の「戦略・物語」を読み取ろう。
財務数字から会社の可能性、ととるべき戦略の考え方を事例を使って学びます。

3. 営業活動のリスクを回避する
「この会社と取引するかどうか」という決断、「どうすれば自社のリスクを低減できるか」のための分析を事例を使って学びます。
また取引先の財務諸表が手に入らないときの分析法を事例を使って学びます。

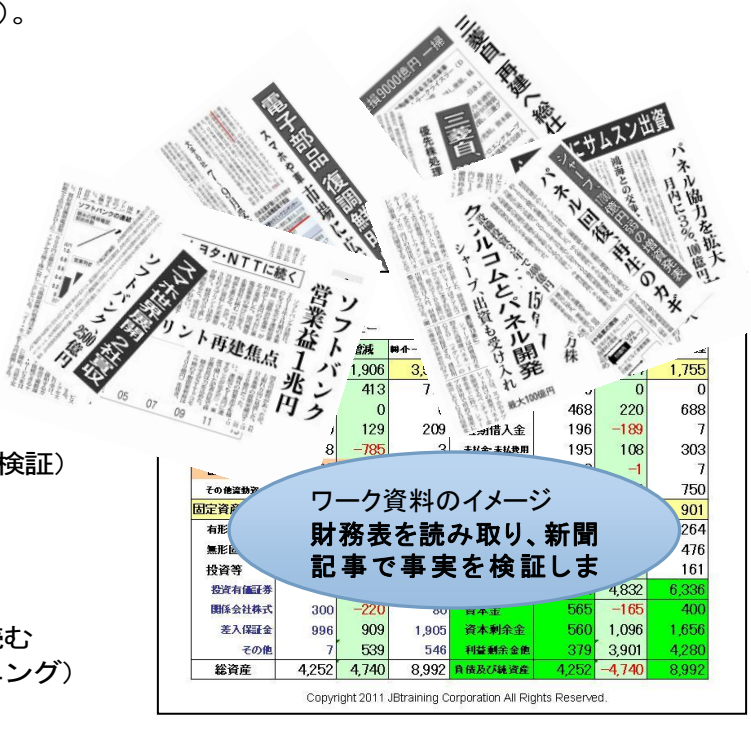
参加者様の声

■財務というと苦手意識があったが、こんなにおもしろいとは！日経新聞の読み方が変わります。
■正直睡魔を覚悟していたが、目から鱗、役に立つことばかりで、具体的にやるべきことが見えてきた。
■実際の事例を読み取って検証するプログラムが、実践的で、自分もできるという自信になった。
■ライバル企業を比較することで、自社に足りない部分が明確になり、負けられないという思いを持った。
■数字に強い戦略思考を持った社員を育てるために、幹部に受けさせた。自分の考えがより幹部に伝わるようになり、安心して任せられそうです（笑）。

プログラム

経営とは
NTT ドコモとソフトバンクの経営型
財務諸表３つの視点
会社を動かす重要なもの

ＢＳ・ＰＬ・ＣＦ　３つの機能

１０分でわかるＢＳ編
ＢＳの構造を３つのポイントで理解する
戦略読み取りトレーニング
（戦略をＢＳから読んでみる、新聞で事実検証）

企業の可能性分析
倒産可能性とリスクマネジメント
この企業は何をしたいか？
（今の話題、競合企業の戦略をＢＳから読むなど、参加者に合わせた内容でトレーニング）
ベンチマークと自社戦略